

日 薬 定 例 記 者 会 見 要 旨

日 時：令和6年12月17日（火）16：30～17：15

場 所：日本薬剤師会 第一会議室

出席者：岩月会長、原口副会長

内容・提出資料：

1. 令和6年度第4回都道府県会長協議会の開催について (令和6年12月10日 日薬発第247号)

原口副会長より、掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

令和6年度第4回会長協議会の開催日時は、令和7年1月15日（水）13時30分から16時45分とし、会場は本会8階会議室で実施予定である。

議題は、報告事項として、第1号「会務報告（令和6年9～12月）」、第2号「日薬を巡る最近の動きについて」、①中央社会保険医療協議会、②社会保障審議会 医療保険部会、③社会保障審議会 医療部会、④社会保障審議会介護給付費分科会、⑤厚生科学審議会医薬品医療機器制度部会、⑥薬局・薬剤師の機能強化等に関する検討会、⑦セルフケア・セルフメディケーション推進のための有識者検討会、⑧医療用医薬品の安定確保策に関する関係者会議、⑨令和7年度厚生労働省予算案、⑩令和7年度厚生労働省関係税制改正、⑪令和8年度調剤報酬改定などを予定している。また、協議事項として、「日薬学術大会開催地に関する件」などを予定している。

2. オンライン服薬指導の活用に向けた研修事業の落札について (令和6年12月17日 日薬情発第144号)

原口副会長より、掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

この度、厚労省の「オンライン服薬指導の活用に向けた研修事業」に応募し、本会が実施者として採択された。

本研修は、オンライン服薬指導の実際の運用まで踏み込んだ研修プログラムの策定や、導入促進につながる研修のあり方について検討する。来年2月中旬～下旬に、本会主催の研修会を複数回開催する予定であり、これらのことについて、都道府県薬剤師会に周知したところである。

なお、本会主催の研修会については、リアル、オンラインなどの開催方法、参加対象は検討中である。

主な質疑応答は以下のとおり。

〈電子処方箋：薬局システムで処方意図と異なる医薬品、薬剤量が表示される件について〉

記者：電子処方箋の発行・応需において、一時的に使用するダミーコードに特定の医薬品コードを紐づけてしまうと、医師の処方意図と異なる医薬品が表示される事例が起きていることについて、厚労省が医療機関などに向けた総合ポータルサイトで注意喚起をしているが、貴会としての対応はいかがか。

原口副会長：厚労省が12月10日にポータルサイトで注意喚起を公開した際、都道府県薬剤師会に対して注意喚起の通知を発出したが、会員に直接伝えるべき内容と判断し、本日、注意喚起の日薬ニュース号外を配信した。患者の命に関わる可能性のある、重大な事案と受け止めている。薬剤師が目視で確認し、重大な事故を回避したのも事実。厚労省が公表した解説資料やチェックリストを参照しながら、対応が困難なものはベンダーを経由して確認する

アプローチが必要である。

岩月会長：システム上はコードのみでやり取りしているため、その電子処方箋を見た薬剤師は、それが誤った表示かどうか、患者情報や紙の処方箋なしに見抜くことは難しい。深刻な問題と受け止めている。

次回の定例記者会見は、令和7年1月7日（火）16：30～を予定。